

令和6年度道内観光産業による 経済効果について(暫定版)

北海道観光機構では、道内の観光地を訪れる観光客の満足度や道内観光産業の経済効果を把握するため、北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査を実施しています。今回、令和6年度の調査結果がまとまりましたのでご報告いたします。

※現時点で令和6年度の観光入込客数が未確定であるため、本報告は【暫定版】といたします。

令和6年度・調査推計結果【暫定版】

1. 観光客入込客数(暫定値)について

■道内客…2024(令和6)年度第1四半期実績が日帰り・宿泊とも前年を下回ったが、第2四半期実績は、概ね昨年度並みとなったことをふまえ、次のように仮定、**日帰り客3,376万人、宿泊客864万人**：共に前年比5%増。また、「その他＝道民の道外・海外への旅行」はコロナ禍前・2019年度と同水準の214万人とした。

■道外客…第1四半期の実績が日帰り客は増減なし、宿泊客は5%増であったことをふまえ、次のように仮定、日帰り客11万人：前年並み、宿泊客543万人：前年比10%増。

■外国人客…304万人：前年比30%増。

観光入込客数の設定【暫定値】

		2019年度 実績値 ※その他は推計値	前回調査 令和5年度 (実績値)	今回調査 令和6年度 (推計値)	前年度比 増減	備考
道内客	日帰り客	35,070,000	32,150,000	33,757,500	1,607,500	1)観光客数は「北海道観光入込客数調査報告書」(北海道経済部観光局)を用いている。 2)道内の「その他」は道外や海外への旅行に関わるものであるが、本事業では調査対象となっていない。このため、今回調査ではコロナ禍前の2019年調査で設定した推計値と同程度と設定した。
	宿泊客	9,340,000	8,230,000	8,641,500	411,500	
	その他	2,144,000	2,144,000	2,144,000	0	
	全体	46,554,000	42,524,000	44,543,000	2,019,000	
道外客	日帰り客	190,000	110,000	110,000	0	
	宿泊客	5,730,000	4,940,000	5,434,000	494,000	
	全体	5,920,000	5,050,000	5,544,000	494,000	
外国人		2,440,000	2,340,000	3,042,000	702,000	

2. 道内観光消費額単価の推移

■パッケージ料金に含まれる道内消費分を考慮した道内客・道外客の道内消費額は下図・表のようになる。

■道内客のうち、日帰り客の観光消費単価は6,361円で、昨年(6,497円)より僅かに減少している。宿泊客は34,331円で、昨年(32,398円)より2,000円ほど増加した。

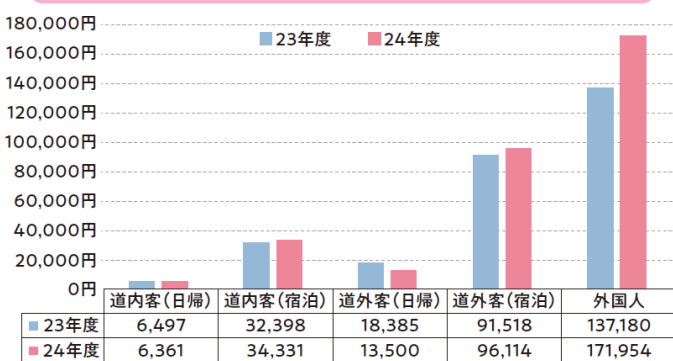
■道外客は日帰り客が13,500円で、昨年(18,385円)より5,000円近く的大幅減。宿泊客は96,114円で、昨年(91,518円)から4,600円程の増となった。

■観光消費の内訳では、道内客の日帰り客では「飲食費」が15%増加しているが、「買い物」で17%減少となった。一方、宿泊客では「買い物」が10%、「交通費」が7%増加となった。

■道外客の宿泊客では「買い物」が15%程度、「飲食費」が9%、「宿泊費」が7%近く増えたが、「交通費」は9%減少した。

■外国人客は「買い物」で4%減少したが、その他の分野では増加し、特に「宿泊費」は50%、「飲食費」は17%増となった。

投入単価/パッケージ料金に含まれる道内消費分等を含む消費額



投入消費単価の推移額

		道内客		道外客		外国人客
		日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
24年度	合計	6,361	34,331	13,500	96,114	171,954
	①交通費	2,282	8,689	4,500	23,020	30,290
	②宿泊費	0	13,259	0	30,278	66,604
	③飲食費	1,978	6,756	6,833	21,529	38,271
	④買い物	1,719	4,348	1,667	14,890	27,924
	⑤娯楽等サービス	368	1,269	500	5,577	8,140
	⑥その他	15	10	0	820	726
23年度	合計	6,497	32,398	18,385	91,518	137,180
	①交通費	2,312	8,126	8,269	25,339	26,028
	②宿泊費	0	12,620	0	28,412	44,371
	③飲食費	1,722	6,421	4,000	19,695	32,665
	④買い物	2,059	3,947	4,846	12,986	29,084
	⑤娯楽等サービス	389	1,222	1,269	4,302	4,679
	⑥その他	15	62	0	784	354
増減率	合計	▲2.1%	6.0%	▲26.6%	5.0%	25.3%
	①交通費	▲1.3%	6.9%	▲45.6%	▲9.2%	16.4%
	②宿泊費	-	5.1%	-	6.6%	50.1%
	③飲食費	14.8%	5.2%	70.8%	9.3%	17.2%
	④買い物	▲16.5%	10.1%	▲65.6%	14.7%	▲4.0%
	⑤娯楽等サービス	▲5.3%	3.8%	▲60.6%	29.7%	74.0%
	⑥その他	2.0%	▲83.1%	0.0%	4.5%	105.1%

調査の概要(令和6年度北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査)

- 目的: ①国内観光客(道内客・道外客)、外国人観光客の観光・旅行の概要や北海道観光への期待度、満足度を把握し、今後の観光振興策の指針を得る。 ②旅行予算を把握し、北海道観光がもたらす地域経済への波及効果を推計する。
- 方法: 全調査地点に調査員を配置し、アンケート回答の依頼と回収を行った。回答は主に「自記入法」(その場で回答者自ら記入し、その場で調査員が回収する)としたが、回答者の希望により「面接聴取法」も併用する。
- 調査地域: 全道80市町村で、103か所の調査地点を設定。このうち、「交通結節点」は11か所(空港、港)
- サンプル数: 有効回答数4,680件を取得(内訳: 道内客1,104、道外客1,383、外国人2,193)。
- 項目: プロフィール(居住地、年代、職業、年収等)、旅行形態(日程、人数等)、旅行内容(消費額、観光ルート等)、期待度・満足度等。
- 時期: 令和6年7月7日～令和7年2月10日

3. 総観光消費額(暫定値)

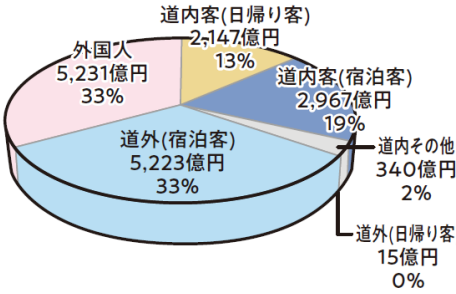
- 観光消費単価と観光入込客数(実人数)(暫定値)を乗じて、下表のように総観光消費額を推計した。
- 総観光消費額は1兆5,923億円程度となり、昨年(1兆2,846億円)から約3,000億円、24%程度の増加となった。
- 観光消費額の構成は道内観光客(日帰り・宿泊客)が全体の32%(5,114億円)を占める。
- 道外客需要は観光消費額の33%(5,238億円)を占めている。
- 外国人需要は入込数増・消費単価の増を受け、観光消費額の33%(5,231億円)を占め、消費額の上では道外客と同程度にまで拡大した。

道内での総観光消費額

			道内客				道外客			外国人	合計
			日帰り客	宿泊客	その他	合計	日帰り客	宿泊客	合計		
a	年間観光客数	R6年度	3,376万人	864万人	214万人	4,454万人	11万人	543万人	554万人	304万人	5,313万人
		R5年度	3,215万人	823万人	214万人	4,252万人	11万人	494万人	505万人	234万人	4,991万人
		増減	161万人	41万人	0万人	202万人	0万人	49万人	49万人	70万人	322万人
b	道内観光消費額単価 (推計用調整値) (1人)	R6年度	6,361円	34,331円	15,853円	－	13,500円	96,114円	－	171,954円	－
		R5年度	6,497円	32,398円	15,853円	－	18,385円	91,518円	－	137,180円	－
		増減	▲136円	1,933円	0円	－	▲4,885円	4,596円	－	34,774円	－
c	道内観光総消費額 (a×b)	R6年度	2,147億円	2,967億円	340億円	5,454億円	15億円	5,223億円	5,238億円	5,231億円	15,923億円
		R5年度	2,089億円	2,666億円	340億円	5,095億円	20億円	4,521億円	4,541億円	3,210億円	12,846億円
		増減	58億円	301億円	0億円	359億円	▲5億円	702億円	697億円	2,021億円	3,077億円
構成比 (%)		R6年度	13.5%	18.6%	2.1%	34.3%	0.1%	32.8%	32.9%	32.9%	100.0%
		R5年度	25.1%	28.3%	1.6%	55.0%	0.2%	35.1%	35.3%	9.6%	100.0%

※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。

道内での総観光消費額 観光客種別構成



分野別観光消費額

		観光入込客数	支出内訳						合計
			①交通費	②宿泊費	③飲食費	④買い物費	⑤娯楽等サービス	⑥その他費用	
道内客	日帰り客	3,376万人	770億円	0億円	668億円	580億円	124億円	5億円	2,147億円
	宿泊客	864万人	751億円	1,146億円	584億円	376億円	110億円	1億円	2,967億円
	その他	214万人	109億円	17億円	31億円	130億円	52億円	0億円	340億円
	合計	4,454万人	1,630億円	1,163億円	1,283億円	1,086億円	286億円	6億円	5,454億円
道外客	日帰り客	11万人	5億円	0億円	8億円	2億円	1億円	0億円	15億円
	宿泊客	543万人	1,251億円	1,645億円	1,170億円	809億円	303億円	45億円	5,223億円
	合計	554万人	1,256億円	1,645億円	1,177億円	811億円	304億円	45億円	5,238億円
	外国人	304万人	921億円	2,026億円	1,164億円	849億円	248億円	22億円	5,231億円
合計		5,313万人	3,808億円	4,834億円	3,624億円	2,746億円	838億円	73億円	15,923億円

- 分野別の観光消費額は左表のように宿泊費(4,834億円)が最大で、交通費(3,808億円)、飲食費(3,624億円)、買い物費(2,746億円)が次ぐ。
- 各種の観光施設利用やアクティビティ等に要する娯楽等サービス(838億円)は1,000億円未満に留まっており、その拡大が今後の課題となる。

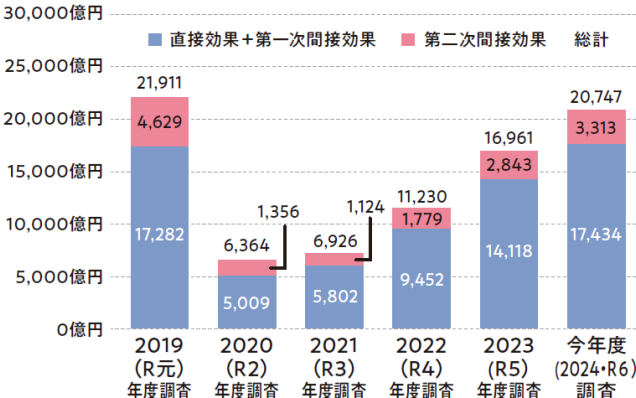
4. 観光による経済波及効果

- 観光総消費額1兆5,923億円がもたらす経済波及効果は下図・表のように要約される。
- 経済波及効果(生産誘発額)は2兆746億円と推計され、昨年(1兆6,961億円)を大きく上回った。(観光消費総額に対する乗数効果は1.36)
- 観光消費により生じる生産活動において発生する「直接効果」は1兆1,607億円、さらに道内の生産やサービス活動に波及する「第一次波及(間接)効果」は5,827億円となる。
- 経済波及効果(生産誘発額)の推移は下図の通りである。
- 今回調査(2兆746億円)はコロナ禍以後では初めて2兆円を超えており、昨年より3,800億円に増となった。概ね、コロナ禍前の2019年度の水準に達している。

観光による経済波及効果(要約)

経済波及効果	2,074,630百万円発生				
観光GDP	576,804百万円押し上げ				
雇用者	180,223人／年の新規雇用者を誘発				
税金	40,249百万円の税金効果				
	生産誘発額(百万円)	粗付加価値(百万円)	所得誘発額(百万円)	雇用誘発数(人)	税金効果(百万円)
直接効果	1,160,654	576,804	313,164	118,923	23,193
1次波及効果	582,690	323,825	137,920	38,475	10,675
2次波及効果	331,286	213,304	82,987	22,825	6,380
合計	2,074,630	1,113,933	534,071	180,223	40,249

観光による経済波及効果(生産誘発額)の推移



※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。